



市民優先の都市行政の 推進を 市長施政方針



市長施政方針演説

福岡県春日市
発行所
春日市役所
電話 ☎1131番
印刷所
福岡印刷株式会社

昭和四十七年当初予算の編成にあたり、市民の皆さんに今後の市政の方向、また、将来に対する方針を申し述べたいと存じます。

ご承知のとおり、本市の基本的方向は「健康で文化的な住宅都市の創造」にあります。これが本市に課せられた使命ですが、同時に私は市民を優先するという観点から近隣愛に満ちた平和な住民生活やみどりに包まれた通り、街並みといった人の心をなごませる環境整備についても常に配慮していく必要があると思えます。

過去の発展の概念をここで修正することは決して無駄ではないと考えます。今後の発展は人と自然がみごとに調和した豊かさでなければならぬと考えます。

この基本的態度に基づき
※ 生活環境の整備

これは地域の計画的都市造りです。現状のままでは都市化が進みますと家庭の過密化と人口の過密化がなおいっそう激まり、生活環境は破壊され、都市的機能を停止させてしまうことは明らかです。

上・下水道、公園、交通機関、その他いずれの諸問題をとりましてもこの観点に対する防衛措置すなわち対策がなくては強たる抜本的解消は存しないと信じております。

私は都市化対策が本市の未来を決定する最重要課題であり、なおかつ、その方向づけを確立する必要な時期に至っていると思えます。

※ 福祉の増進

福祉の増進については、従来、福祉事務所で行なわれていた基本的福祉業務が今年度から春日市福祉事務所で行なわれるようになります。これは憲法二十五条の規定により住民を困窮から救い、貧困から立ち直らせる制度であります。

福祉事務所の設置により、この立法精神に基づいた、住民と密着したきめのこまかな福祉行政が行なえることになりました。社会福祉政策の強化推進は生

活の向上に比例して極めて重要な位置を占める施策であると考えます。

※ 教育施設の整備拡充

教育の基本は平和的国際および社会の形成者となるため、心身共に健康な人格の完成にあると教育基本法は規定しております。私は教育基本法の法意にそった施策を今後とも実現していく所存ですが、今後さらに、予測される技術革新、情報化、多極化など激しく変化する社会に耐えうる次代の青年の育成と社会人としての素地を育てなければならぬと確信します。

以上の三点を重要視策として今後の行政運営に織り込み、執行を担当していく所存です。

公共下水道

事業の推進を

〔下水道施設〕

生活汚濁水、工場排水など環境悪化の元凶となる汚水処理は無断行による河域下水道事業が進行しているため、この河域下水道事業と併行、符合させ、四十八年度から三ヵ年計画をもって市町村による公共下水道事業を起し、七排水区に分け、事業を実施します。

○とごいたららますとごいましゅう○

市道の完全舗装へ

〔生活道路〕

日常生活に関係深い生活道路、側溝、水路については道路整備五年計画により実施していますが、これが早期実現をはかるため、財源の優先配分を行ない、計画的な道路利用の実態から勘案し、舗装に着手します。

じん芥収集週二回

〔清掃〕

市民の生活向上と都市化により一日と排出量は増大し、加えて技術開発の遅れなど自治体における財政支出は異常な負担となっており、しかしながらこの種の事業はその性格上自治体の本務とするところであり、し尿料金の利用者負担の変更についてはこのほか苦慮しましたが、ご理解を頂きたいと存じます。

懸案のじん芥週二回収集については生活環境の浄化を重視し、今年度から実施します。

長期的な

水資源の確保を

〔上水道〕

第三次施設計画は種々の政治的困難もありましたが、その後順調に運び、一日当り一万八千トン、給水人口六万人の増設計画がほぼ見込みうる段階に至っております。今後は年度計画にしたがい、着実にこれが実現をはかり、将来の水資源確保についても長期的な視野に立って水資源確保を行なう所存です。

福祉施設の整備を

〔福祉〕

各種福祉施設施設計画をもつて保育所、児童館、児童遊園、老人いこいの家などの整備に取組み、着々とその準備をあげてきましたが、今後ともこの種の施設拡充計画を履き、とくに児童遊園、多目的利用老人施設、機能回復訓練施設などの見直しおよび老人に対する公共施設の設置については重点的に実施していく考えです。

百十八戸の

公営住宅建設

〔公営住宅〕

公営住宅の建設については今年度百十八戸建設する所存ですが、住宅事情の現状に鑑み、将来ともこの基本方針をたらし、持ち家のない市民の入居の

要請に付随していく所存です。

小学校の新設を

〔義務教育〕

義務教育につきましては内容の向上、教育環境の整備にとくに意を配りたいと存じます。

内容の向上につきましては児童、生徒の才能の発掘、創造性の助成など指導者交流による柔軟な指導環境をとり、あらたに情報化時代に対応してV・T・Rによる放送教育を導入していきたいと考えます。また、視聴覚機器その他教材、教具などについても精進し、時代に遅れることのない学園の建設に取り組む考えです。

教育環境の整備については良好で適正な状態での教育施設の樹立を主眼といたします。本市は人口急増が著しいために昭和四十七年度においても小、中学校あわせて十四学校の増築を実施しますが、さらに適正な施設規模の維持の観点から今後小学校二校、中学校一校の設置を図る必要があります。とくに春日北小学校校区の増築と併せて今年度中に完了させる必要に迫られておりますので、この措置

についてはとくに配慮を加えております。

市民記念

ホールの建設を

〔社会教育〕

現状の地域社会の現状からして感じますことは通商の気持、津幹道線の欠如などこのようない連の極めて通俗的な側面を行政が援助すべきであると私は痛感します。この意味から市政進行にちなみ、本市のシンボルとして市民記念ホールを建設し、通商意識を高揚する一策とした所存です。

資金融資と

駐車場の設置を

〔産業〕

本市の商工および農業者対策は大都市周辺が過去に迫ってきてた浸食作用にも似た現象としてとらえる必要があります。

都市化に伴う販売意欲の変化など消費者の動向による影響が少なくないと考えますが、これが対策として地場資本の強化をはかり、他面、中核都市としての機能の有利性をいかにし、消費者の立場に立った経営方針、経営活動が必要で、これが対策として私は自己買

本の強化、回転率の効率化などの行政指導のほか短期資金融資、融資条件の側面的援助を行なう一方、消費者の市内取引の一環として専用駐車場の設置を実施し、産業者対策とした所存です。

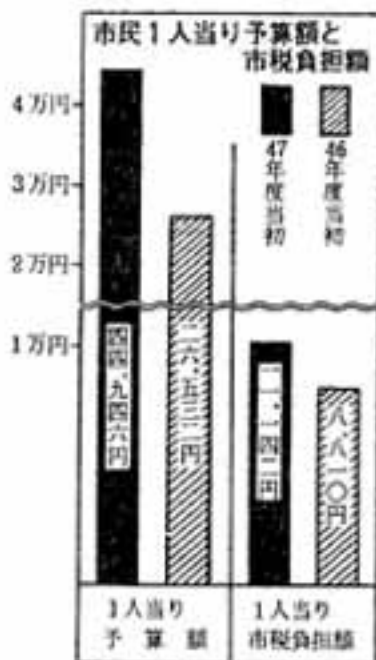
農業対策につきましてはご承知のとおり、本行政区域の殆んどが市街化区域として国家的見地から規定づけられたことにより、私は事業経営対策としてこの問題を考慮すべきであると考へます。

したがって、私は農業の延長としてこの問題を考えるのではなく、一事業に対する対策として押し進め、同時に生活手段を何に移行させるかこのことについて慎重に検討しなければならぬ重大な時期に至っていると考へます。

以上、私の所信の一端であります。これら懸案事項の実施に必要な予算の配分については財政の健全性を維持することを基調として、長期的視野に立つた編成としております。なおかつ、早期、効率的に住民福祉の増進が達成されますよう精進を尽す所存でありますので、市民皆様のご了承、ご協力をお願いいたします。

47年度予算決まる

25億8千938万円の新年度予算



今年度の予算は去る三月二十八日の定例会で可決しました。一般会計予算二十億二百九十七万三千円、水道事業会計三億八千二百四十九万九千円、国庫会計二億三百九十九万八千円、合計二十五億八千九百三十八万円の新年度予算となっています。

一般会計予算のあらましは次のとおりです。

歳入の主なものには市税の一億二千五百二十五万三千円増加（三十三・三％）前年度当初比、地方債（借入金）三億五千六百六十万円増加（二百七十六・六％）、地方交付税一億二千三百九十七万一千円増加（三十五・六％）、国庫支出金一億七千二百二十万二千円などです。

歳出の主なものには教育費四億五千九百五十七万三千円増加（百七十七・七％）、土木費一億二千五百二十一万六千円増加（三十三・三％）、民生費二億五百六十五万七千円増加（百九十八・六％）、総務費五千三百二十三円増加（四十％）、衛生費二千六百六十七万三千円増加（三十一・二％）などです。

予算は都市行政の推進を基盤に生活環境の整備充実、社会福祉の充実、教育施設の整備拡充など数多くの施策が盛り込まれております。

春日市がどんな事業をするのか、新年度予算のあらましをみてみましょう。

都市生活の環境づくり

下水道の整備

福岡県単行の廃下水処理場（幹線下水道と終末処理）の完成を推進するための負担金三千四百四十万円を計上しました。なお、昭和五十年には本市関係分の春日幹線が完成し、終末処理場も四分の一セット整備開始されます。

四十八年度本市単行による公共下水道事業着工のため、設計費九千二百四十万円計上しています。

市区画整理
都市機能を向上させ、生活環境を高め、将来の都市化を推進していくため、市区画整理の基礎調査を実施します。

緑化推進
都市化の進展は緑をそう失わせ、住民生活のうるおいを失なわせつつあるので、これが対策として緑化推進事業を実施します。

生活環境の整備充実
幹線道路の舗装、新設改良
道路整備五カ年計画により、今年度は六千五百二十五万円の舗装工事を実施し、舗装時点に整備なども整備します。また、道路の新設、改良は六

社会福祉の充実
密住宅建設
若原地区に一般公営用住宅四十戸、七千五百十六万円、歓喜、双葉地区に改良住宅七十八戸、一億六千六百八十三万円で建設します。

千円

税種	千円	増円
市 民 税	222,363千円	
固定資産税	120,036千円	
軽自動車税	11,073千円	
たばこ消費税	12,133千円	
電気・ガス税	35,836千円	

楽善人いこいの家

老人の心身の健康保持に努めるため、今年度は七ヶ所の楽善人いこいの家を建設します。この費用一千二百九十九万円。

楽善人いこいの家

身体障害者のラハビリテーションセンターとしての置度心身障害センター七百八十万円を建設します。

教育施設の整備拡充

楽学校建設

急増する児童、生徒を収容し、すぐれた教育環境をつくるため、須玖小学校(仮称)の用地取得と建設事業に二億一千百二十二万円。春日小学校の臨内体育館建設事業四千八百三十万円。春日東、春日西小学校と春日、春日東中学校の増築工事八千三百五十八万円などを実施します。

楽教育内容の充実

高い知識と豊かな情操を養ない、科学技術や近代産業の発展に対応するための教材、教員の研修に努めます。

楽市民記念ホールの建設

市制施行にちなみ、春日市のシンボルとしての市民記念ホー

歳入状況



産 業 の 振 興

一億四千万円を建設します。楽幼児、児童用プール。スポーツセンターをスポーツの殿堂とすべく、今年度は幼児、児童用プール二千六百四十万円を建設します。

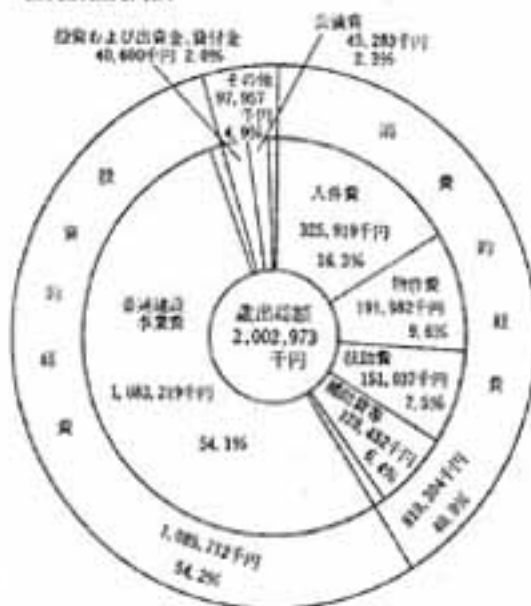
楽商工業振興

市内商工業者の振興対策として、季節貸付金一千万円と小口融資貸付金四百万円を計上しています。また、買物券の利用に供する

歳出状況



性質別経費内訳



主な事業の内訳

区分	金額(千円)	構成率(%)
道路	156,969	14.5
交通安全	7,134	0.7
教育	592,911	54.7
厚生	25,967	2.4
住宅	244,068	22.5
産業振興	18,120	1.7
消防施設	2,378	0.2
その他	35,682	3.3
合計	1,083,219	100.00

ため、駐車場を春日に確保し、楽用水確保のため、水供給、井せき改修など四百五十万円計上しています。

楽産業振興

市内商工業者の振興対策として、季節貸付金一千万円と小口融資貸付金四百万円を計上しています。